

わかち合う歌集

『伊那の谷びと』の経験

～満蒙開拓、中国帰国者、そして～

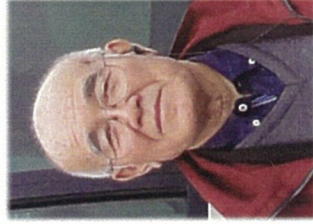
四年前、メガソーラーの歌で歌会始に入選した小林勝人さんが昨年、歌集『伊那の谷びと』を上梓しました。飯田日中友好協会や満蒙開拓平和記念館に関わってきた経験を反映して、満州移民や中国帰国者について詠んだ歌が全編を貫いています。

ほかに、伊那谷全域への関心を育むことになった中電時代の保守点検業務や、家庭での養蚕・製糸の歴史、そして過疎化や学校の統廃合が進む現状への懸念など、この歌集には伊那谷にとって貴重な近代史の経験が多数散りばめられています。

ここに詠まれた個人の体験を、伊那谷全体の記憶として確認・共有化し、次世代に伝えることができると願い、この場を設けました。

この地域で学生研修を実施し、小林さんとも親交のある高柳俊男さん（法政大学）が聞き手を務めます。

〈小林勝人氏〉



日時 3月19日(土)

午後2時～3時30分

会場 満蒙開拓平和記念館 セミナールーム

参加費 記念館入館料(一般500円、小中高生300円)

定員 40名【電話又はFAXでお申し込み下さい。】

村を分け新天地へと渡満させし

母村も合併の波に吞まれる